



2026年3月2日

各 位

会社名 株式会社フライヤー
代表者名 代表取締役 CEO 大賀康史
(コード番号：323A 東証グロース市場)
問合せ先 取締役 CFO 望月剛
(TEL 03-6212-5115)

(訂正)「財務上の特約が付された金銭消費貸借契約の締結について」の一部訂正について

2026年2月27日に公表いたしました「財務上の特約が付された金銭消費貸借契約の締結について」において、記載内容の一部に誤りがありましたので、下記のとおり訂正いたします。なお、次のページに訂正後の内容を添付しております。

記

■ 訂正の内容

「3. 金銭消費貸借契約に付される財務上の特約の内容」について下記のとおり訂正いたします。
※訂正箇所は下線を引いております。

(訂正前)

- (3) 2027年2月期以降の各事業年度の決算期における連結のDSCRを1.2倍以上に維持すること。なお、ここでいうDSCRとは、債務者の各事業年度に関して、以下の計算式により算出される値をいう。

$$DSCR = \frac{A+B+C+D-E}{F}$$

A=当該事業年度の連結の損益計算書における経常損益

B=当該事業年度の連結の損益計算書における減価償却実施額

C=当該事業年度の連結の損益計算書におけるのれん償却実施額

D=当該事業年度の連結の損益計算書における敷金償却実施額

E=当該事業年度の連結の損益計算書における配当金

F=当該事業年度の連結の損益計算書における法人税等合計額

G=当該事業年度における短期借入金、1年内返済予定の長期借入金(社債含む)、長期借入金(社債含む)の元本返済合計額(期限前弁済を除く。)

(訂正後)

- (3) 2027年2月期以降の各事業年度の決算期における連結のDSCRを1.2倍以上に維持すること。なお、ここでいうDSCRとは、債務者の各事業年度に関して、以下の計算式により算出される値をいう。

$$DSCR = \frac{A+B+C+D+E-F}{G}$$

A=当該事業年度の連結の損益計算書における経常損益

B=当該事業年度の連結の損益計算書における減価償却実施額

C=当該事業年度の連結の損益計算書におけるのれん償却実施額

D=当該事業年度の連結の損益計算書における敷金償却実施額

E=当該事業年度の連結の損益計算書における配当金

F=当該事業年度の連結の損益計算書における法人税等合計額

G=当該事業年度における1年内返済予定の長期借入金(社債含む)、長期借入金(社債含む)の元本返済合計額(期限前弁済を除く。)

以 上



2026年2月27日

各 位

会社名 株式会社フライヤー
代表者名 代表取締役 CEO 大賀康史
(コード番号：323A 東証グロース市場)
問合せ先 取締役 CFO 望月剛
(TEL 03-6212-5115)

財務上の特約が付された金銭消費貸借契約の締結について

当社は、本日、以下のとおり、財務上の特約が付された金銭消費貸借契約の締結を行うことについて決定いたしましたので、お知らせいたします。

1. 財務上の特約が付された金銭消費貸借契約の締結を行う理由

本日公表いたしました「株式会社 Zealox の株式取得（連結子会社化）に関するお知らせ」に記載の通り、同社の株式取得資金に充当するためであります。

今回、株式取得（子会社化）及び資金の借入に関する本開示につきましては、2026年2月13日の当社取締役会において、最終的な決定を代表取締役に一任することが決議され、その後、財務制限条件を含む融資条件についての最終調整・合意を経て、本日正式な契約締結に至りましたため、併せて開示させていただきます。

2. 金銭消費貸借契約の内容

(1) 金銭消費貸借契約の締結日	2026年2月27日（予定）
(2) 相手方の属性	株式会社りそな銀行
(3) 債務の元本	350百万円
(4) 弁済期間	2026年2月27日～2029年2月28日
(5) 担保の内容	株式会社 Zealox 株式担保

3. 金銭消費貸借契約に付される財務上の特約の内容

- 本契約締結日以降の決算期の末日における連結の貸借対照表における純資産の部（資本の部）の金額を、前年同期比75%以上に維持すること。
- 本契約締結日以降の決算期における連結の損益計算書に示される経常損益を2期連続で損失とならないようにすること。
- 2027年2月期以降の各事業年度の決算期における連結のDSCRを1.2倍以上に維持すること。なお、ここでいうDSCRとは、債務者の各事業年度に関して、以下の計算式により算出される値をいう。

$$DSCR = \frac{A+B+C+D+E-F}{G}$$

A=当該事業年度の連結の損益計算書における経常損益

B=当該事業年度の連結の損益計算書における減価償却実施額

C=当該事業年度の連結の損益計算書におけるのれん償却実施額

D=当該事業年度の連結の損益計算書における敷金償却実施額

E=当該事業年度の連結の損益計算書における配当金

F=当該事業年度の連結の損益計算書における法人税等合計額

G=当該事業年度における1年内返済予定の長期借入金（社債含む）、長期借入金（社債含む）の元本返済合計額（期限前弁済を除く。）

4. 今後の見通し

本借入れに伴う当期（2026年2月期）の連結業績に与える影響は、本日公表いたしました「株式会社 Zealox の株式の取得（子会社化）に関するお知らせ」に記載の通り、本件取得に伴う関連費用の発生等を含め現在精査中であり、今後開示すべき事項が生じた場合には速やかにお知らせいたします。なお、本借入れに伴う支払利息等の発生が連結業績に与える影響は、2026年2月期においては軽微であると見込んでおります。

以 上